

インフルエンザの流行に対して、皆様に面会制限のご協力を頂き1ヶ月が過ぎました。流行は下火になりつつありますが、まだ油断せず感染予防に努めていきたいと職員一同頑張っています。

ご家族の皆様・面会に来られる方におきましてはご不自由をお掛けしますが、面会制限が解除になるまで、ご理解とご協力よろしくお願い致します。

また、面会制限のために日用品が不足している方がいらっしゃいます。お立ち寄りの際にでもご持参され、事務所に預けて頂ければと思います。

(歯ブラシ・歯磨き粉・入れ歯洗浄剤・箱ティッシュなど)

3月の予定

16日 いきいきサロン

午後 誕生会

25日 運営推進会議



4月の予定

1日 開設記念日

20日 いきいきサロン

午後 誕生会

今年は暖冬といわれた冬でしたが、1月末に大雪が降ったと思えば、

2月に気温が20度を超える日があったりと、コロコロ変わる天気

振り回される冬だったように思います。

最近梅の花も咲き始め、少しずつ春の気配を感じます。

さて、来月は新しい年度が始まります♪

来年度もよりよい新聞を発行できるように頑張りたいと思っています。

南之郷新聞



平成28年3月号(南之郷新聞 第21号) 発行日：平成28年3月10日

〒899-8608 鹿児島県曽於市末吉町南之郷8130番地1

社会福祉法人南之郷 地域密着型特別養護老人ホーム南之郷

認知症高齢者グループホーム南之郷

発行人：施設長 富永 つや子



3月3日の行事といえば、一般的には「ひな祭り」ですが、

「**耳の日 (33=みみ)**」でもあります。

1956（昭和31）年に日本耳鼻咽喉科学会が制定したもので、

「難聴と言語障害をもつ人たちの悩みを少しでも解決したいという、

社会福祉への願いから始められた」とのこと。



電話を発明したグラハム・ベルの誕生日が3月3日で、ベルはろう教育者でもあったそうです。顔の中で、どちらかというとあまり注目を浴びる機会の少ない耳ですが、耳の日に寄せて、耳よりな知識や耳に関するトリビアをご紹介します。

音を聞くしくみ

そもそも耳はどうやって音を聞いているのでしょうか。

耳は外耳、中耳、内耳の3つに分けられ、普段目にしているのは外耳の部分。

音は、軟骨が皮膚で覆われた耳介がパラボラアンテナのように集めて、

外耳道を通り鼓膜を振動させて中耳へ向かいます。

中耳は空洞ですが、音は3つの耳小骨(ツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨)を伝わって

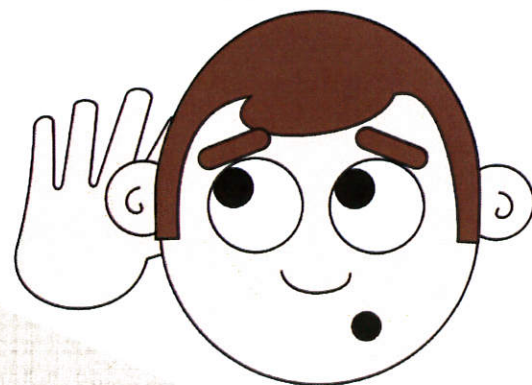
増幅。内耳の蝸牛（かぎゅう）に伝達されると、音の高低・強弱を分析して、

電気信号に変換されます。この信号が蝸牛神経を通じて大脳に伝えられると、

大脳の聴覚が信号を音として認識するので「音が聞こえた」となるわけです。

あなたの聞きたい音は、どんな音ですか？

人間の聴覚に音の選択能力があるためであり、人は聞きたくない音やさほど重要でない音を背景に押しこんで自分が聞きたいと思う音を浮かび上がらせることができますよ♪



耳の役割は他にもある

耳は単に音を聞くだけではなく、様々な働きがあります。

よく知られているのは気圧の調節機能。高速エレベーターに乗った時や、飛行機の離着陸などで耳が痛くなることがありますが、これは急激に高くなった外気圧で鼓膜が内側に引っ張られるために起こります。つばを飲み込んだり飴を舐めたりすると和らぐのは、中耳にある耳管が開いて中耳腔(鼓膜から内耳までの空洞)と外気の気圧を調節するからです。また、内耳には平衡感覚を司る三半規管があり、回転を感知しています。前転したり、ダンスなどでターンをしてもバランスが取れ位置関係がわかるのは、三半規管のおかげ。

さらに、耳が左右にあることで、音が届く時間と音圧の差で音のどの方向から聞こえるかを判断できます。人間は耳を動かせませんが、馬や猫などの動物は耳を自在に動かせるので、あらゆる方向からの音を聞き分けられるのですね。

耳のお手入れ



欧米人の耳の手入れは綿棒が一般的ですが、耳かきを使うのは日本人独特の風習らしく、竹製の耳かきは日本のお土産として人気があるそうです。しかし、耳垢には殺菌・保護作用があるので取り過ぎは返って耳に良くないと言われています。月に1回程度から多くて1週間に1回程度で耳垢が溜まりやすい「入口1cm程度」で十分と言われています。